

[bloomberg.co.jp](https://www.bloomberg.co.jp)

リクルートH: 自己株をTOBで取得へ、総額で最大約**1558億**円

沢和世、黄恂恂

2022年1月28日 15:13 JST 更新日時 2022年1月28日 21:33 JST

- 買付価格は**4581円**で、**28日終値5305円**から約**14%**のディスカウント
- NTTデータらから昨年末、売り出しの意向を確認

[リクルートホールディングス](#)は28日、自己株を株式公開買い付け(TOB)で取得すると発表した。買付総額は最大約**1558億円**で、既存株主の[NTTデータ](#)、[博報堂DYホールディングス](#)、TBSテレビが応募する。



本社ビル

Photographer: Toru Hanai/Bloomberg

発表資料によると買付価格は**4581円**で、**28日終値5305円**から約**14%**のディスカウント。買付予定株数は**3400万株**、発行済み総数に対する割合は**2.06%**。買付期間は**31日**から3月1日まで。

買い付けを決めた背景について同社は、**2021年10月下旬**に保有比率**1.71%**で第**9位**(**21年9月30日**時点)のNTTデータから、所有株の一部を売却したいとの打診を受けたほか、**12位**株主のTBSテレビ、**22位**の博報堂DYからも売却の意向を確認したためだと説明した。

社名	保有割合	売り出し株数	売却予定総額
NTTデータ	1.71%	1970万株(1.19%)	約902億円
TBSテレビ	1.51%	150万株(0.09%)	約69億円
博報堂DY	0.64%	535万5000株(0.32%)	約245億円

出所:リクルートHDの発表資料

TOBという手法を選択した理由については、不規則な市場での売却で株価に下落圧力がかかる懸念を緩和することに加え、「他の株主への売却機会の提供」と「市場価格から一定のディスカウントを行った価格での普通株式の買い付けが可能である」と説明している。

なお同社は、TOBの資金については全額を自己資金で賄う予定としている。自己株の処分は現時点で未定ながら、普通株を対価とする戦略的M&Aや、新株予約権行使時の株式交付、従業員を対象とした報酬などに利用する可能性があるとしている。

凸版印刷がリクルートH株の一部売り出し、1096億円規模一タームシート

株主による同社株式の売却を巡っては、昨年12月9日、2.95%の株式を保有する凸版印刷が1500万株を売り出すと報じられ、翌日に約5.5%、翌々日の営業日に3.7%下落したことがあった。



(TOBを行う理由などについて詳細を更新しました。)